

遠野市帯状疱疹予防接種の費用助成について

市では、令和6年度から任意の予防接種である帯状疱疹予防接種を希望する方に、下記のとおり接種費用を一部助成します。なお、助成につきましては、今後も継続していく予定です。

1 帯状疱疹とは

帯状疱疹は、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる疾患です。加齢やストレス、過労などによりウイルスに対する免疫力が低下すると、神経節に潜伏していたウイルスが再活性化し、神経を伝わり皮膚に到達して、痛みを伴う赤い発疹を生じます。

発症すると、からだの片側に水疱を伴う紅斑が帯状に広がります。強い痛みを伴うことが多く、症状は3～4週間ほど続きます。

50歳以上になると発症率が高くなり、80歳までに3人に1人がかかると言われ、また、皮膚症状が治った後も、50歳以上の約2割の方に長期間痛みが残る帯状疱疹後神経痛になる可能性があります。

2 助成対象者

接種日時点で遠野市に住所がある満50歳以上で、令和6年4月1日以降に当該ワクチン接種を希望する方 ※初めて助成を受ける方に限ります。

3 助成内容

【生ワクチン（1回接種）】助成回数1回、助成額4,000円

【不活化ワクチン（2回接種）】助成回数2回まで 助成額1回につき10,000円

◎帯状疱疹ワクチン2種類のうちどちらか一方を選択します。

※生活保護世帯の方は、生ワクチンに限り接種費用の全額を助成します。申請の際にお申し出ください。

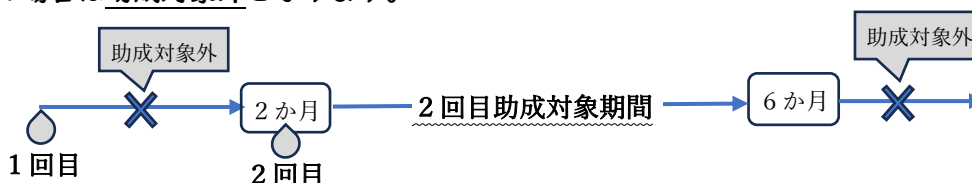
※令和6年4月1日より前に接種した費用は該当になりません。

※令和6年4月1日以降に接種した費用は、不活化ワクチン接種2回目のみでも助成対象になります。

《ご注意ください》

○不活化ワクチンの2回目接種は、1回目接種の2か月後同日以降から6か月後の同日までに行うことになっています。

不活化ワクチンの2回目接種日が1回目接種の2か月後に満たない場合や、6か月後の翌日以降の場合は助成対象外となります。



4 接種できる指定医療機関

別紙「令和6年度 遠野市予防接種医療機関一覧」をご確認ください。

5 接種・助成までの流れ

- ①接種を希望する方は、遠野健康福祉の里保健医療課又は宮守総合支所へ申出書（様式1）を提出し、申請をしてください。
- ②予診票は市から郵送します。予診票が届いてから接種を希望する指定医療機関に予約します。
- ③市から交付された予診票を、問診事項を記入したうえで医療機関に持参し、接種を受けます。
- ④窓口で、医療機関が定める接種料金から助成額を引いた自己負担分を支払います。
- ⑤医療機関から接種済証を受け取ってください。

※指定医療機関以外での接種を希望される方は、接種前に下記担当課で手続きが必要です。

6 ワクチンについて

受診する機会がなく、選択に迷う場合は、保健医療課にご相談ください。
医療機関への電話での相談は対応が難しい場合がありますので、ご協力をお願いします。

	【生ワクチン】販売名：ピケン (乾燥弱毒生水痘ワクチン)	【不活化ワクチン】販売名：シングリックス (乾燥組換え帯状疱疹ワクチン)
特徴	・1回接種 ・皮下注射	・2回接種 ・筋肉内注射
効果	・予防効果：約50～60% ・持続期間：5～7年程度といわれている	・予防効果：50歳以上で97%、70歳以上で90%程度 ・持続期間：10年以上といわれている ・帯状疱疹後神経痛を予防する
注意点	・ <u>先天性及び後天性免疫不全状態の方は接種できません。</u> 例) 白血病、リンパ腫、骨髄やリンパ系に影響を与えるその他疾患等 ・薬剤等による治療を受けており、 <u>明らかに免疫抑制状態の方は接種できません。</u>	・2回接種が必要。 ・標準的な接種方法：1回目の接種から2か月後に2回目の接種を行う。2か月を超えた場合6か月後までに接種する。 ・疾病又は治療により免疫低下した者等に対し接種スケジュールを短縮することで効果が得られるという判断に基づき医師が接種を必要と認めた者には、接種間隔を1か月まで短縮することができる。
主な副反応	・注射部位の痛み、発赤、腫れ、倦怠感	・全身症状（倦怠感、筋肉痛、発熱、頭痛等）、注射部位の痛み、発赤、腫れ

7 他の主なワクチンとの接種間隔

新型コロナワクチン	13日以上間隔をあける
生ワクチン（麻しん風しんなど）	27日以上間隔をあける
不活化ワクチン（インフルエンザなど）	接種間隔に制限なし

8 予防接種による健康被害救済制度について

市が行政措置として実施する任意接種の場合で、接種を受けた対象者に健康被害が生じた場合は、遠野市予防接種事故災害補償規則により対応します。

遠野市健康福祉部保健医療課 電話 0198-68-3186